



# 夢を結ぶ



平岡緑中学校ホームページ <https://www.hiraokamidori-j.sapporo-c.ed.jp>

本校 HP の QR コード

## 子どもたちの「確かな成長」を持続可能なものにするために

～令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書のご報告と次年度へ向けて～

教頭 森山 正樹

校庭の雪も少しずつ少なくなり、春の足音が聞こえ始めた札幌の3月。保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては、この1年間、本校の教育活動に多大なるご理解と温かいご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、先月、本校におきまして「学校関係者評価委員会」を開催し、この1年間の平岡緑中学校における教育活動について、PTA会長や学校評議員の皆様から貴重なご意見をいただきながら振り返りを行いました。本日、その結果をまとめた「令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書」をHPに公開いたしましたので、その概要と次年度に向けた展望についてご説明いたします。

### ■ 学校評価の仕組みについて

本校では、学校教育目標の実現に向けた学校運営の重点項目を設定し、それぞれについて「教職員」「生徒」「保護者」の皆様アンケートを実施しました。アンケートは、5「よく当てはまる」、4「やや当てはまる」、3「どちらでもない」、2「あまり当てはまらない」、1「まったく当てはまらない」の5段階（5件法）で行い、その平均値をもとにA～Dの達成度を示しております。三者による視点をすり合わせることで、学校の強みと課題を客観的に把握することを目的としています。

### ■ アンケートの結果

今年度の評価結果を見て教職員が最も勇気付けられたのは、保護者の皆様から多くの項目で「A（十分に達成）」という極めて高い評価をいただいたことです。特に、以下の項目での成果が確認できました。

#### ● 「学校からの情報発信」

（教職員：4.65、保護者：4.60）

すぐーるやホームページ等を通じた情報発信が、保護者の皆様に「学校の様子がよく分かる」という安心感に繋がったことが確認できました。

#### ● 「地域との連携（コミュニティ・スクール）」 （教職員：4.42、保護者：4.19）

今年度に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールが始動しました。地域の方々「力強い味方」として連携を深める体制ができつつあり、今後の教育活動の大きな原動力となっています。

#### ■ 大きな「課題」

一方で、この評価書の中には、教職員が決して見過ごしてはならない項目が一つあります。それは、教職員の「働き方改革」に対する自己評価が「3.5」であったことです。他の多くの項目が「4.0」を超える中、この数字だけが突出して低くなっていました。本校の教職員は、前述した「充実した情報発信」や「地域との連携」、そして「きめ細やかな生徒支援」を維持するために、自らの心身の余裕を削りながら走り続けている状況を示しているともいえます。

#### ■ 次年度に向けて

「教職員が笑顔で、心に余裕をもって子どもたちに関わること」こそが、子どもたちに最高の教育環境を届けるための、絶対的な条件です。そのため、次年度は平岡緑中学校のよさを残しつつ、「業務の精選」を推し進め、これまで慣例として行ってきた行事なども見直し、それによって生まれた「心の余白」を、子どもたち一人一人と向き合う時間へ、そして更なる教材研究の時間へと、質的に転換していきたいと思っております。

#### ■ おわりに

「教職員が元気になれば、子どもたちがもっと輝く。子どもたちが輝けば、ご家庭に笑顔が届く。」そんな「笑顔の連鎖」のある平岡緑中学校を目指していきたいと考えております。学校と家庭、そして地域は、子どもという未来を育てる一つのチームです。次年度も引き続き、保護者の皆様並びに地域の皆様からお力添えをいただきますようお願い申し上げます。1年間の多大なるご支援に、改めて深く感謝申し上げます。